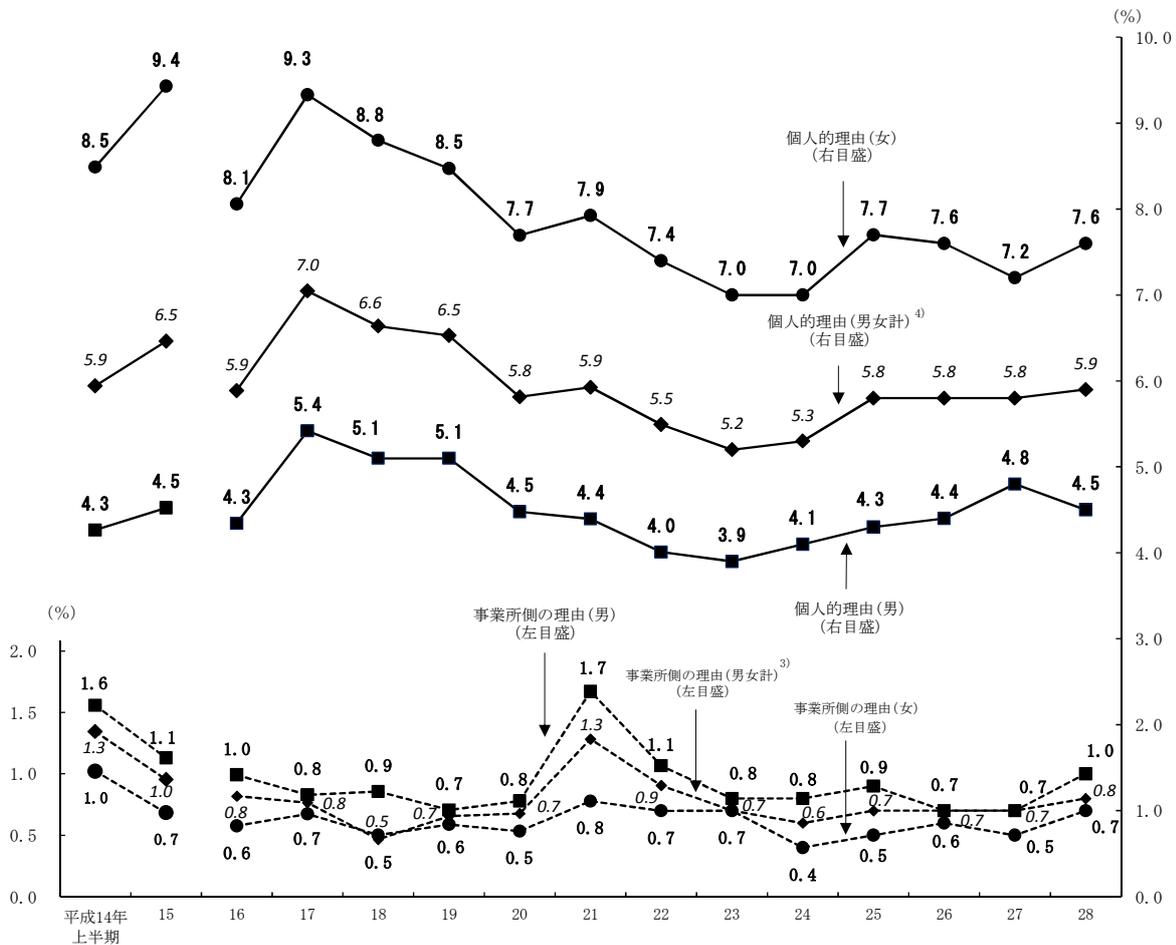


4 離職理由別離職の状況

平成 28 年上半期の離職率を離職理由別にみると、「個人的理由」（「結婚」「出産・育児」「介護・看護」及び「その他の個人的理由」の合計）によるものは 5.9%（前年同期 5.8%）、「事業所側の理由」（「経営上の都合」「出向」及び「出向元への復帰」の合計）によるものは、0.8%（同 0.7%）で、前年同期と比べるといずれも 0.1 ポイント上昇した。

男女別にみると、「個人的理由」によるものは、男性は 4.5%（同 4.8%）、女性は 7.6%（同 7.2%）で、前年同期と比べると、男性は 0.3 ポイント低下、女性は 0.4 ポイント上昇し、「事業所側の理由」によるものは、男性は 1.0%（同 0.7%）、女性は 0.7%（同 0.5%）で、前年同期と比べると、男性は 0.3 ポイント、女性は 0.2 ポイントそれぞれ上昇した。（図 6）

図 6 離職理由¹⁾別離職率²⁾の推移（各年上半期）



注：平成16年から調査産業の範囲が拡大しているため平成15年以前とは接続しない。3ページの利用上の注意1を参照。

1) 「離職理由」は離職者がいた事業所が回答した理由である。

2) 離職理由別離職率 = $\frac{\text{離職理由別離職者数}}{\text{1月1日現在の常用労働者数}} \times 100 (\%)$

3) 「事業所側の理由」は「経営上の都合」「出向」及び「出向元への復帰」の合計である。

4) 「個人的理由」は「結婚」「出産・育児」「介護・看護」及び「その他の個人的理由」の合計である。